

総合人文科学研究センター 活動報告

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

DC セミナー

日時：2021 年 4 月 9 日（金）

場所：Zoom 開催

早稲田大学総合人文科学研究センターでは、キャリア初期研究者支援の一環として、毎年《日本学術振興会特別研究員（DC）》応募チャレンジセミナーを実施している。本年は COVID-19 の感染拡大防止を図り、オンライン講演形式での開催となった。

所長挨拶：河野貴美子（早稲田大学総合人文科学研究センター所長）

DC 応募に際しての諸注意：大山雄一郎（早稲田大学文学学術院事務所）

DC 経験者からのアドバイス①：鳩飼末緒（早稲田大学総合人文科学研究センター助手）

DC 経験者からのアドバイス②：袁甲幸（早稲田大学総合人文科学研究センター助手）

質疑応答コーナー：大山雄一郎・鳩飼末緒・袁甲幸

参加者：文学研究科在籍者 58 名

ランチセミナー

日時：2021 年 4 月 21 日（水）・28 日（水）・5 月 12 日（水）

場所：Zoom 開催

「ランチセミナー」では毎年、当センターが目指す人文学領域における活発な横断研究の促進を図るため、当該年度に文学学術院に着任した教授、准教授、専任講師らに研究紹介を頂いている。前年度は感染拡大防止のため、中止となったため、本年度は前年度着任の教員も含めて、全 3 回のセミナーを設けた。

司会：ライアン・スティーブン（早稲田大学総合人文科学研究センター副所長）

はじめに：嶋崎尚子（早稲田大学文学学術院長）

第 1 回登壇者（4 月 21 日）

尾崎真理子 教授（大江健三郎作品と柳田国男の『固有信仰』について）

柿沼陽平 教授（中国古代の日常世界にせまる）

清水由紀 教授（子どもの認知発達の普遍性と文化差）

山内功一郎 教授（サンフランシスコの詩と詩人）

第 2 回登壇者（4 月 28 日）

垣内景子 教授（心のための朱子学）

関直子 教授（現代の画家と膜）

皆本智美 教授（19 世紀イギリス女性作家研究の可能性）

伊藤遼 准教授（現代論理学と英米哲学史）

西城戸誠 教授（「環境と社会」学—サステイナビリティを考える実践的な社会学的研究に向けて）

第 3 回登壇者（5 月 12 日）

アスアヘアラム・マヌエル 准教授（20 世紀後半のラテンアメリカ文学者による、日本古典文学の翻訳とその時代背景）

岩川ありさ 准教授（フェミニズムから読む文学）

片平建史 准教授（感動の心理生理学）

田中雅史 専任講師（文化の生成と伝達のメカニズム解明に向けて）

箕曲在弘 教授（ラオスのコーヒー生産者を通してみる環境と開発の人類学）

2021 年度 総合人文科学研究センター年次フォーラム

国際シンポジウム「東アジア文化交流—古代・中世仏教の相互往来—」

日時：2022 年 1 月 16 日（日） 対面・Zoom ハイブリッド開催

会場：早稲田大学戸山キャンパス 33 号館 3 階 第 1 会議室

主催：早稲田大学総合人文科学研究センター（RILAS）

同研究部門「グローバル化社会における多元文化の構築」

中国・浙江工商大学東亜研究院

同東方語言与哲学学院

同日本研究中心

韓国・蔚山大学校人文大学日本語日本学科

早稲田大学総合研究機構日本宗教文化研究所

同日本古典籍研究所

日本学術振興会科学研究費助成事業「撰関期・院政期僧俗の呉越・北宋との相互交流と思想的影響」基盤研究(C)（一般）

中国国家社会科学基金重点項目「古代中日“佛教”外交研究」

共催：早稲田大学多元文化学会

早稲田大学文化構想学部多元文化論系

プログラム

総合司会：李美子（四天王寺大学人文社会学部准教授、早稲田大学日本宗教文化研究所招聘研究員）

《開会式》

開会の辞 吉原浩人（早稲田大学日本宗教文化研究所所長・同文学学術院教授）

祝 辞 渡邊義浩（早稲田大学理事・同文学学術院教授・同日本宗教文化研究所研究員）

祝 辞 嶋崎尚子（早稲田大学文学学術院院長／教授）

《基調講演》

司会・コーディネーター：吉原浩人・河野貴美子（早稲田大学日本古典籍研究所所長・同文学学術院教授）

◇吉原浩人

「『大乘本生心地観経』訳経と日本文人への影響—般若・靈仙・白居易・菅原文時—」

◇山本聡美（早稲田大学日本宗教文化研究所所員・同文学学術院教授）

「『本朝』の自画像—ボストン美術館蔵「吉備大臣入唐絵巻」に描かれた中国と日本—」

◇江静（浙江工商大学東方語言与哲学学院・東亜研究院院長／教授、早稲田大学日本宗教文化研究所招聘研究員）

「入元僧の中国における地域活動考—無夢—清を事例として—」

◇魯成煥（蔚山大学校人文大学日本語日本学科名誉教授）

「宋・高麗・日本の禅院茶文化の交流」

《パネルディスカッション》

○基調講演者全員

《研究発表 1》

司会：高松寿夫（早稲田大学日本古典籍研究所研究員・同文学学術院教授）

◇龔凱歌（早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程 1 年）

「入宋僧寂照の天台山巡礼と王氏父子—『王氏談録』の記載を手掛かりに—」

◇姚瓊（浙江工商大学東方語言与哲学学院副教授）

「古代における中日の疫病観念」

◇洪聖牧（蔚山大学校日本語日本学科副教授）

「日本霊異記にみる日韓仏教交流」

《研究発表 2》

司会：田中史生（早稲田大学日本古典籍研究所研究員・同文学学術院教授）

◇曾昭駿（浙江工商大学東方語言与哲学学院助教）

「渡来僧と日本の尼僧・尼寺」

◇崔鵬偉（早稲田大学日本宗教文化研究所所員・同文学学術院助教）

「仏教霊驗譚と絵画の中の天童—『高僧伝』から『今昔物語集』へ—」

◇劉瀟雅（浙江工商大学東方語言与哲学学院講師）

「中世仏教説話に現れた隠者像」

◇金美真（蔚山大学校日本語日本学科助教授）

「近世考証随筆に描かれている仏教」

《閉会式》

閉会の辞 河野貴美子

東アジア人文学フォーラム

日時：2021 年 11 月 20 日（土）・11 月 21 日（日）

場所：Zoom 開催

漢陽大学校、南開大学、国立台湾大学、清華大学、香港理工大学および早稲田大学文学学術院の協定により、毎年開催する「東アジア人文学フォーラム」は第 13 回を迎えた。今年度のフォーラムは国立台湾大学が主管大学となり、「分野の交差と統合」を全体テーマとして開催された。文学学術院からは、河野貴美子教授がモデレーターとして参加したほか、以下 4 名の報告があった。

- ・李成市「生命分子論から見た文化論—日韓比較文化論を中心に」
- ・松前もゆる「現代ヨーロッパおよび東アジアにおける移動、ジェンダー、世代」
- ・小塩真司「Expectations for the integration of humanities and sciences from the perspective of study of psychology（心理学という学問から見た文理融合の期待）」
- ・ライアン・スティーブン「Older language learners: Challenging disciplinary boundaries（高齢語学習者：学問領域の枠を超える挑戦）」

英語論文執筆講座

◇英語論文ライティング講座（入門編）

日時：2021 年 10 月 27 日（水）

形式：Zoom 開催

講師：Peter Chin（早稲田大学アカデミックソリューション講師）

使用言語：英語

参加者：早稲田大学大学院文学研究科在籍者 19 名ほか

◇英語論文ライティング・ラウンドテーブル

日時：2022 年 3 月 7 日（月）

形式：Zoom 開催

パネリスト：小島直子（立命館大学政策科学部准教授）

山崎泉氏（学習院大学国際社会科学部准教授）

司会・進行：ライアン・スティーブン（早稲田大学文学学術院教授・同総合人文科学研究センター副所長）

使用言語：英語

参加者：文学研究科在籍者 15 名

早稲田大学比較文学研究室

日本比較文学会 第 83 回 全国大会（共催・Zoom 開催拠点）

日時：2021 年 6 月 12 日（土）・6 月 13 日（日）

形式：Zoom 開催

開会の辞：日本比較文学会会長 ソートン不破直子（日本女子大学名誉教授）

挨拶：河野貴美子（早稲田大学総合人文科学研究センター所長）

2021 年 6 月 12 日（土）

研究発表 I

A 室

報告者：曾小蘭（東北大学大学院）

題目：「創造社第一期同人が革命文学へ転向する経緯について——「智識階級」の認識を忠信に」

司会：許時嘉（山形大学）

報告者：稲本知恵（東京大学大学院）

題目：「自己の影なる他者——ローレンス・ヴァン＝デル＝ポストによる対日戦争文学『影の獄にて』
に見る文化的他者の表象」

司会：齋藤一（筑波大学）

B 室

報告者：プロホロワ・マリア（東京外国語大学大学院）

題目：「人間の批判者としての擬人化動物——日本とロシアの現代文学を中心に」

司会：中村唯史（京都大学）

報告者：芦川貴之（早稲田大学大学院）

題目：「国木田独歩とツルゲーネフ——「運命論者」とガーネット英訳本をめぐって」

司会：中村唯史（京都大学）

C 室

報告者：新田杏奈（青山学院大学大学院）

題目：「片山敏彦の戦前・戦後とタゴール」

司会：佐藤光（東京大学）

報告者：東郷登志子（津田塾大学大学院）

題目：「*The Book of Tea* における「ミサ」の技巧的翻訳」

司会：佐藤光（東京大学）

D 室

報告者：呂輝菲（名古屋大学大学院）

題目：「末広鉄腸『啞の旅行』の中国語訳における妓女描写——20 世紀初頭の中国知識人の女性観
の考察」

司会：古田島洋介（明星大学）

報告者：瀬戸宏（摂南大学名誉教授）

題目：曹禺『雷雨』の恋愛観

司会：工藤貴正（愛知県立大学）

ワークショップ I

Donald Keene, *Japanese Literature: An Introduction for Western Readers* (1953) 再読

司会：徳盛誠（東京大学）

報告：竹内晶子（法政大学）

畑中千晶（敬愛大学）

坪井秀人（国際日本文化研究センター）

ワークショップⅡ

SF 的環境としての現代日本

司会・報告：長澤唯史（梶山女学園大学）

報告：山本範子（北星学院大学）
（立原透耶）（作家・翻訳家）

ディスカッサント：飯嶋裕治（九州大学）

ワークショップⅢ

東アジアからの国際発信

Comparative Literature and Transcultural Communication: an East Asian Perspective

司会：ヨコタ村上孝之（大阪大学）

報告：Stefan Buchenberger（神奈川大学）

Park Sangjin（釜山外国語大学校）

Wu Peichen（国立政治大学）

6月13日（日）

研究発表Ⅱ

A室

報告者：岩下弘史（法政大学非常勤講師）

題目：「夏目漱石「道義上の個人主義」の背景——同時代思想との関係から」

司会：木戸浦豊和（岐阜聖徳学園大学）

報告者：式町眞紀子（法政大学非常勤講師）

題目：「迷いと焦燥、名誉と欲望、そして悟りと——チェンバレンと能『邯鄲』」

司会：中島淑恵（富山大学）

B室

報告者：永井泉（大阪市立大学大学院）

題目：「片山廣子の初期短歌にみられる「死」への憧れ——クリスティーナ・ロセッティとの比較」

司会：高橋美帆（関西大学）

報告者：トーマス・ブルック（神戸大学大学院）

題目：「リービ英雄の『万葉集』研究における二言語併用——「抒情」‘lyric’という語の登場をめぐる考察」

司会：佐藤伸宏（東北大学名誉教授）

報告者：菊田伶央（東京大学大学院）

題目：計算された「誤訳」——マラルメとポーの「大鴉」

司会：佐藤伸宏（東北大学名誉教授）

C室

報告者：エスカンド・ジェシ（大阪大学大学院）

題目：「日本ファンタジー文芸作品におけるユダヤ神秘主義的モチーフとその順化——ゴーレム表象を中心に」

司会：西岡あかね（東京外国語大学）

報告者：草野慶子（早稲田大学）

題目：「「流動する主体」と「皮膚」——ジナイーダ・ギッピウスのフェミニズム」

司会：西岡あかね（東京外国語大学）

報告者：コチーフト・ズハル（筑波大学大学院）

題目：「周縁化された女性たちの知性——19世紀後半から20世紀初頭のトルコ文学と日本文学における狂女表象をめぐる」

司会：小松原由理（上智大学）

シンポジウム

二つの「世界文学」の間——いま比較文学は何ができるのか

司会・趣旨説明：源貴志（早稲田大学）

報告者：宗像和重（早稲田大学）

西成彦（立命館大学）

坂口周（福岡女子大学）

ディスカッサント：中村三春（北海道大学）

閉会の辞：日本比較文学会代表理事 エリス俊子（名古屋外国語大学）

月例発表会（第225回）

日時：2021年12月11日（土）

ステイブン・チェ（リサーチフェロー・コロンビア大学大学院博士課程）

「『子どもを主題とした小説』の出現とその影響—『小公子』の原作者と翻訳者をめぐって—」

司会：源貴志（早稲田大学研究員・文学学術院教授・研究部門代表）

月例発表会（第226回）

日時：2022年1月24日（月）

粕谷典子（文学学術院非常勤講師）

「アントン・チェーホフの作品に見られる日本のイメージ」

司会：源貴志（早稲田大学研究員・文学学術院教授・研究部門代表）

トランスナショナル社会と日本文化

公開講演会「仏日における国際日本学の研究動向と今後のゆくえ」

日時：2021年7月10日（土）

場所：Zoom 開催

司会：谷口眞子（早稲田大学文学学術院教授）

開会の挨拶と趣旨説明：谷口眞子

ベルランゲ河野紀子（リール大学教授）

「フランスにおける国際日本学の現状とリール大学での取り組み」

コメント：河野貴美子（早稲田大学文学学術院教授・同総合人文科学研究センター所長）

「日本における国際日本学の現状と早稲田大学での取り組み」

討論

閉会の挨拶：谷口眞子

研究会「近世日本の海外知識、海外の近世日本知識」

日時：2022年1月22日（土）

場所：Zoom 開催

司会：伊川健二（早稲田大学文学学術院教授）

趣旨説明

米谷均（早稲田大学）

「キリシタン宗門に対する非キリシタンの認識把握—キリシタン宗門は「仏法」の一部か否か—」

タイモン・スクリーチ（Timon SCREECH）（国際日本文化研究センター）

「新発見：「奥羽・出羽キリシタン奉答書」の別本」

椎名浩（熊本学園大学）

「関係断絶期のスペイン認識—情報と史料の類型」

サボー・ノエミ（SZABÓ Noémi）（カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学）

「近世ハンガリーにおいて新聞記事に掲載された日本に関するニュース」

質疑応答

グローバル化社会における多元文化学構築

早稲田大学多元文化学会 2021 年度春季大会（多元文化学会・多元文化論系と共催）

「国際日本学の今を考える：教育実践の場から」

日時：2021 年 6 月 19 日（土）

場所：Zoom 開催

司会・基調説明：パウ・ピタルク（早稲田大学文学学術院准教授）

茶谷さやか（Assistant Professor, National University of Singapore）

「『日本史を教える』から『日本史で教える』へ：史料翻訳プロジェクトの経緯」

マシュー・フェルト（Assistant Professor, University of Florida）

「知識から経験に移る国際教育の重点」

デンニツァ・ガブラコヴァ（Senior Lecturer, Victoria University of Wellington）

「語学教育の勝利？」

ダニエル・ポッホ（Assistant Professor, The University of Hong Kong）

「香港大学で日本文学を教える」

早稲田大学多元文化学会 2021 年度秋期大会研究発表会

日時：2021 年 10 月 30 日（土）

場所：Zoom 開催

発表：田中亜美（早稲田大学文学研究科博士後期課程）

「文献と造像にみる弁才天と仏・菩薩・神の習合—江島縁起を起点に—」

司会：伊川健二（早稲田大学文学学術院教授）

講演：渡邊義浩（早稲田大学文学学術院教授）

「魏武注『孫子』の思想」

シンポジウム「地方史誌研究の現在」

主催：小二田章（早稲田大学文学学術院講師）

共催：大元大明研究会

日時：2022 年 3 月 7 日（月）

場所：Zoom 開催

司会：近藤一成（早稲田大学名誉教授）

基調報告：小二田章

佐藤大悟（青山学院大学助手）

「明治前期日本の地方史誌編纂」

巴兆祥（復旦大学歴史系教授）

「近五年の中国方志学の研究動向」

森山央朗（同志社大学神学部教授）

「中東のムスリムたちの地方史誌の色々」

小原淳（早稲田大学文学学術院教授）

「『地方史』の編み方、読み方、伝え方—近現代ドイツの場合」

総括コメント：吉田光男（東京大学名誉教授）・原淳一郎（米沢女子短期大学准教授）

共催講演会「オスマン帝国の「総志」/「方志」？：「国家年鑑」/「州年鑑」の構成と内容」

主催：大元大明研究会

日時：2022年3月10日（木）

場所：Zoom 開催

講師：大河原知樹（東北大学大学院国際文化研究科教授）

イメージ文化史

ワークショップ「アニメーションのイメージとは何か」

日時：2021年7月10日（土）

場所：Zoom 開催

宮本裕子（明治学院大学文学研究科嘱託研究員）

「フライシャー兄弟の Color Classics シリーズとステレオプティカル：立体視への「退行」、階級、前衛、装置論」

石岡良治（早稲田大学文学学術院准教授）

「アニメジャンルにおける表象モード」

ワークショップ「私たちは立ち上がる——『燃ゆる女の肖像』における生の取り戻し」

日時：2022年1月29日（土）

場所：Zoom 開催

原田麻衣（京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程／日本学術振興会特別研究員）

「平等の眼差しがもたらす回想」

横田祐美子（立命館大学衣笠総合研究機構助教／早稲田大学総合人文科学研究センター招聘研究員）

「生き生きとした想起——視覚と聴覚をめぐって」

辻佐保子（早稲田大学文学学術院講師（任期付））

「私を振り返って——『燃ゆる女の肖像』における想起と音楽」

久保豊（金沢大学人間社会学域准教授）

「彼女の唇をもう一度味わうために——『燃ゆる女の肖像』にみる孤食と共食の表象」

関根麻里恵（学習院大学大学院人文科学研究科身体表象文化学専攻助教）

「「なかったことにしない」ための協同作業——『燃ゆる女の肖像』における中絶表象」

東アジアの人文知

第12回国際フォーラム「越境する人文知」

共催：中国現代文化研究所との共催

日時：2021年7月29日（金）

場所：Zoom 開催

総合司会：千野拓政（早稲田大学文学学術院教授）

開会の挨拶：鳥羽耕史（早稲田大学文学学術院教授）

陳艷林（中山大学中国語言文学系中国古典文献学博士課程）

「『南柯夢記』版本考論」

司会兼コメンテーター：岡崎由美（早稲田大学文学学術院教授）

夏心言（中国人民大学中文系博士課程）

「清代戯曲「補恨」論」

司会兼コメンテーター：岡崎由美

謝敏（中央戯劇学院戯劇管理系博士課程）

「欧阳予倩在日本成城中学就读时间考」（欧陽予倩の成城中学就学時期）

司会兼コメンテーター：平林宣和（早稲田大学文学学術院教授）

閉会の辞：千野拓政

第13回国際フォーラム「越境する人文知」

共催：中国現代文化研究所

日時：2022年2月9日（水）

場所：Zoom 開催

総合司会：千野拓政（早稲田大学文学学術院教授）

開会の挨拶：鳥羽耕史（早稲田大学文学学術院教授）

マイ・サアド・アハマド・ヘガジー（アインシャムス大学助講師・カイロ大学大学院博士課程）

「芥川龍之介の作品におけるエゴイズム及び滅私の精神」

司会：山本有香（早稲田大学文学研究科博士後期課程）

コメンテーター：駒木結（早稲田大学文学研究科博士後期課程）

ケヴィン・ニーハウス（Stanford University Ph.D. Candidate in East Asian Languages and Cultures）

「Rethinking Tanizaki's "Great Change Narrative": Manji, The Plot Controversy, and Gossip」

司会：鳥羽耕史

コメンテーター：ジェイソン・ベックマン（Jason Beckman, Stanford University Ph.D. Student）

吉田安岐（フランス国立東洋言語文化研究大学講師、同フランス東アジア研究所研究員）

「日本でのアジア・アフリカ文学の受容—1960・1970年代の翻訳を通して」

司会：金子聖奈（早稲田大学文学研究科博士後期課程）

コメンテーター：山田宗史（早稲田大学文学研究科博士後期課程）

閉会の辞：千野拓政

第4回四校工作坊 Zoom 開催

共催：中国語中国文学コース、中国現代文化研究所

日時：2022年3月19日（土）・20日（日）

参加院生：日本5名、中国12名

参加教員：周志強、陳琰嬌、羅小茗、池田智恵、千野拓政

現代社会における危機の解明と共生社会創出に向けた研究

研究会「東日本大震災前後における災害サイクルと地域存続ビジョンの変遷：津波被災地域でのフィールドワークの結果より」

日時：2021年7月30日（金）

場所：Zoom 開催

報告者：野坂真（早稲田大学文学学術院社会構築論系講師（任期付））

野坂氏の報告の後、部門設置延長等について議論を開始した。

主催：一般社団法人 シニア社会学会

共催：早稲田大学 地域社会と危機管理研究所

早稲田大学 総合人文科学研究センター〈現代の危機と共生社会〉研究部門

後援：「ひとと原発」上映対談会

日時：2021年8月8日（日）

浪江町を中心に、福島第一原子力発電所における原発事故の影響を受け続けている地域の住民たちへのインタビュー記録をまとめた映像に基づく対談会を行う（映像はオンライン上で参加者に事前に視聴してもらう）。「現代社会における危機の解明と共生社会創出に向けた研究」研究部門 研究員の長田攻一および野坂真が対談会に登壇する。また、対談会の開催を大学ホームページおよび研究部門メンバーへの一斉メールにより周知する形で協力した。

知の蓄積と活用にもけた方法論的研究

研究会：樺太研究会（4回）

日時：2021年6月24日（木）・8月9日（月）・12月28日（火）・1月12日（木）

2020年度に引き続き、樺太引揚に関する文書資料アーカイブの構築に着手し、研究会を4回実施した。

芦別市星の降る里百年記念館収蔵「芦別の100枚の写真」説明記録会

日時：2021年7月3日（土）

芦別市役所広報課によって撮影された市制施行（昭和28年）から昭和末年（64年）までの記録写真100枚（パネル現物）について、長谷山隆博前館長から一枚ずつ説明を受け記録化した。

研究会「ライフコース論×環境社会学 ―エネルギー産業の転換と移動をめぐって―」

共催：環境社会学会研究例会

日時：2022年3月8日（火）

場所：Zoom開催

個別アーカイブズとの連携事業：

- ・嶋崎研究室と夕張市教育委員会とで「ゆーばり歴史・教育資料室所蔵資料の調査についての覚書」を結び、人文研招聘研究員笠原良太氏を中心に、資料アーカイビングならびに調査事業を開始した。
- ・常磐炭礦磐城礦業所閉山50周年記念事業として、いわき市石炭・化石館ほるる・常磐炭田史研究会主催「企画展 常磐炭礦閉山50年」（10月23日～12月5日）でのアーカイブ資料3点の提供ならびに講演会「第4次石炭政策と常磐炭礦（株）閉山」（嶋崎尚子）を担当した。

社会の複雑化・階層化の史的パースペクティブ

シンポジウム：山内清男コレクション受贈記念シンポジウム 山内清男と縄紋文化

日時：2021年10月11日（月）

場所：早稲田大学 小野記念講堂

共催：早稲田大学 総合人文科学研究センター

発表者：中村五郎（福島県文化功労者）

岡本東三（千葉大学名誉教授）

戸田哲也（玉川文化財研究所）

大村裕（元中央大学兼任講師）

高橋龍三郎（早稲田大学教授）

科研・新学術領域研究（研究領域提案型）「古代エジプトにおける都市の景観と構造」科学研究費（新学術研究領域） 研究会・講演会：

「唐代都城の成立と展開―発掘遺構を中心に―」

日時：2021年11月24日（水）

場所：Zoom 開催

発表者：城倉正祥（早稲田大学文学学術院 教授・東アジア都城・シルクロード考古学研究所 所長）

「エジプト中王国時代のセトルメント・パターンと砂漠の道」

日時：2021 年 12 月 21 日（火）

場所：Zoom 開催

発表者：矢澤健（東日本国際大学エジプト考古学研究所 客員教授・早稲田大学エジプト学研究所 招聘研究員）

この他にも学会、研究会などもオンラインで積極的に実施した。

現代社会における「想像力」の総合的研究

第1回研究会（参加者 12 名）

日時：2021 年 6 月 26 日（土）

場所：Zoom 開催

飯塚真弓（早稲田大学総合人文科学研究センター招聘研究員）

「宗教的贈与における想像力—南インド・ヒンドゥー寺院の寄付を事例に」

コーディネーター：國弘暁子（早稲田大学文学学術院教授）

第2回研究会（参加者 20 名）

日時：2021 年 7 月 24 日（土）

場所：Zoom 開催

発表者：阿比留久美（早稲田大学文学学術院准教授）

「教育学における民主主義と想像力—民主主義はリアリティある価値になりうるのか？」

コーディネーター：御子柴善之（早稲田大学文学学術院教授）

第3回研究会（参加者 19 名）

日時：2021 年 10 月 30 日（土）

場所：Zoom 開催

発表者：ソン・ヘジョン（早稲田大学総合人文科学研究センター招聘研究員招聘研究員）

「多和田葉子をめぐる旅—文学研究から記録映画の製作に至るまで」

コーディネーター：松永美穂（早稲田大学文学学術院教授）

第4回研究会（参加者 20 名）

日時：2021 年 12 月 19 日（日）

場所：Zoom 開催

発表者：竹内愛子（早稲田大学総合人文科学研究センター招聘研究員／コチ大学）

「雑婚なき同化：米国日系移民排斥運動を背景に想像／創造された民族の境界」

有賀ゆうアニース（東京大学大学院学際情報学府）

「「混血児」をめぐる人種的想像力と教育権の限界：神奈川県における入学拒否事件をめぐって」

コーディネーター：豊田真穂（早稲田大学文学学術院教授）

角田柳作国際日本学研究所

高等研究所セミナーシリーズ【グローバル・ヒストリー研究の新たな視角】公開講演会「仏日における国際日本学の研究動向と今後のゆくえ」

講演者：ベルランゲ河野紀子（リール大学教授）

日時：2021年7月10日（土）

場所：Zoom 開催

司会：谷口眞子（早稲田大学文学学術院教授）

コメンテーター：河野貴美子（早稲田大学文学学術院教授／同総合人文科学研究センター所長）

対象：学部生・大学院生・教職員・一般

主催：早稲田大学 高等研究所

共催：早稲田大学総合人文科学研究センター研究部門「角田柳作記念国際日本学研究所」

後援：早稲田大学総合人文科学研究センター研究部門「トランスナショナル社会と日本文化」

オンラインワークショップ「日本研究の国際化とは何かを東アジアから考える—『東アジア文化講座』全4巻の刊行に寄せて」

日時：2021年7月24日（土）

場所：早稲田大学戸山キャンパス 33号館3階第一会議室／Zoom 開催

発表者：小峯和明（立教大学名誉教授・角田柳作記念国際日本学研究所招聘研究員）

染谷智幸（茨城キリスト教大学教授）

ハルオ・シラネ（コロンビア大学教授）

金文京（京都大学名誉教授）

司会：李成市（早稲田大学文学学術院教授・角田柳作記念国際日本学研究所所長）

河野貴美子（早稲田大学総合人文科学研究センター所長・文学学術院副学術院長）

主催：角田柳作記念国際日本学研究所

スーパースターグローバル大学創成支援事業早稲田大学国際日本学拠点

「人新世と人文学」セミナーシリーズ（第1回）公開講演会「地球史における水・土・人の循環」

日時：2021年12月4日（土）

場所：Zoom 開催

開会挨拶

講演：大西健夫「地球史における水・土・人の循環」

質疑応答・討議

司会：山本聡美（早稲田大学文学学術院教授）

主催：早稲田大学高等研究所

共催：早稲田大学 SGU 国際日本学拠点

早稲田大学総合人文科学研究センター 角田柳作記念国際日本学研究所

早稲田大学美術史学会

助成：公益財団法人三菱財団 2020 年度助成

（人文科学：202020034 「中世日本の環境と美術」）

オンラインワークショップ

「文学にみる港の歴史・記憶 The History and Memory of Ports in Literature」

日時：2021年12月23日（木）

場所：早稲田大学 33号館3階第一会議室／Zoom 開催

開会あいさつ

報告 司会：河野貴美子（早稲田大学文学学術院教授）

張如安（寧波大学人文与伝媒学院教授・浙江省文史館館員）

「詩歌からみる宋元期寧波の港文化」

田中史生（早稲田大学文学学術院教授）

「日本の説話・物語にみる 9～12 世紀の九州と海商」

高松寿夫（早稲田大学文学学術院教授）

「『万葉集』にみる古代日本の海運と港湾」

各報告へのコメント（大学院生と質疑）

司会：王海燕（浙江大学人文学院歴史系教授・寧波大学浙東文化研究院学術委員）

全体討論

司会：河野貴美子（早稲田大学文学学術院教授）

閉会あいさつ

主催：スーパーグローバル大学創成支援事業早稲田大学国際日本学拠点

早稲田大学総合人文科学研究センター角田柳作記念国際日本学研究所

寧波大学浙東文化研究院

寧波大学人文学与伝媒学院

共催：早稲田大学総合研究機構日本古典籍研究所

早稲田大学総合研究機構奈良美術研究所

オンラインシンポジウム「吉増剛造の詩業—世界文学の中の Gozo Yoshimasu」

日時：2022 年 1 月 22 日（土）

場所：早稲田大学小野記念講堂／Zoom 開催

講演

Forrest Gander “Letter to Gozo Yoshimasu from California”

シンポジウム

和合亮一（詩人）「G 氏ノ瞳ノ奥ノ瞳ニ」

Jordan Smith（城西国際大学准教授）「火毛等^{かけら}」

郷原佳以（東京大学准教授）「マジック・メモの時間」

小野正嗣（早稲田大学文学学術院教授）「Gōzō とオルレアンの庭」

講演：吉増剛造

司会・オーガナイザー：堀内正規（早稲田大学文学学術院教授）

主催：スーパーグローバル大学創成支援事業早稲田大学国際日本学拠点

共催：思潮社

後援：立命館大学 言語文化研究所

高等研究所「人新世と人文学」セミナーシリーズ（第 2 回）公開講演会「古典絵画の基盤—技法材料、流通、使用」

日時：2022 年 2 月 5 日（土）

場所：Zoom 開催

開会挨拶

講演：鴈野佳世子（獨協大学特任准教授）「古典絵画の基盤—技法材料、流通、使用」

質疑応答・討議 司会：山本聡美（早稲田大学文学学術院教授）

主催：早稲田大学高等研究所

共催：早稲田大学 SGU 国際日本学拠点

早稲田大学総合人文科学研究センター角田柳作記念国際日本学研究所

早稲田大学美術史学会

助成：公益財団法人三菱財団 2020 年度助成

(人文科学：202020034 「中世日本の環境と美術」)

国際ワークショップ

「東アジア古典研究のグローバル化を目指して一言語と文化の翻訳論— How to Globalize Premodern East Asian Studies? Linguistic and Cultural Translation Theory and Practice」

日時：2022 年 3 月 12 日 (土)

場所：Zoom 開催

趣旨説明：河野貴美子 (早稲田大学文学学術院教授)

Wiebke Denecke 氏 (マサチューセッツ工科大学教授)

報告：楽曲 (早稲田大学文学研究科博士後期課程)

馮辰チェン (早稲田大学文学研究科博士後期課程)

魯耀翰 (高麗大学校)

雋雪艶 (清華大学)

コメント：宋好彬 (高麗大学校)

Matthew Fraleigh (ブランダイス大学)

全体ディスカッション

主催：スーパーグローバル大学創成支援事業早稲田大学国際日本学拠点

共催：早稲田大学総合研究機構日本古典籍研究所

MIT, School of Humanities, Arts, and Social Sciences, Literature (MIT 文学部)

早稲田大学総合人文科学研究センター角田柳作記念国際日本学研究所

高等研究所「人新世と人文学」セミナーシリーズ (第 3 回) 公開講演会

「山と人新世：中央アジア山岳地域の歴史研究から考える」

日時：2022 年 3 月 7 日 (月)

場所：Zoom 開催

開会挨拶

講演：秋山徹 (早稲田大学高等研究所准教授)

「山と人新世：中央アジア山岳地域の歴史研究から考える」

質疑応答・討議

司会：地田徹朗 (名古屋外国語大学世界共生学部世界共生学科准教授)

総合司会：山本聡美 (早稲田大学文学学術院教授)

主催：早稲田大学高等研究所

共催：早稲田大学 SGU 国際日本学拠点

早稲田大学総合人文科学研究センター角田柳作記念国際日本学研究所

早稲田大学美術史学会

助成：公益財団法人三菱財団 2020 年度助成

(人文科学：202020034 「中世日本の環境と美術」)

日本の新聞彙報欄を活用した研究の国際ワークショップ—メディア・大正時代・「よみうり抄」

日時：2022 年 3 月 14 日 (月)

場所：Zoom 開催

開会挨拶・趣旨説明：金ヨンロン（早稲田大学高等研究所講師）

十重田裕一（早稲田大学国際文学館長・SGU 国際日本学拠点リーダー）

基調講演：前田恭二（武蔵野美術大学教授）

「読売新聞文芸欄の情報性〈作られ方〉と〈使い方〉をめぐって」

ラウンドテーブル

滝上裕子（立教大学研究員・日本大学非常勤講師）「大正期「よみうり抄」の変遷」

宗像和重（早稲田大学教授）「「よみうり抄」の中の「世界文学」」

石川巧（立教大学教授）「「よみうり抄」に見る〈移動〉と〈滞留〉」

コメント：ロバート キャンベル（早稲田大学特命教授・国際文学館顧問）

インターミッション

ラウンドテーブルⅡ

須田喜代次（大妻女子大学教授）「「よみうり抄」と『鴉外』」

山岸郁子（日本大学教授）「「よみうり抄」と久米正雄」

杉浦静（大妻女子大学教授）「心平・黄瀛・賢治—「よみうり抄」への登場」

コメント：鳥羽耕史（早稲田大学教授）

総評：ロバート キャンベル・鳥羽耕史

質疑応答

閉会挨拶：宗像和重（早稲田大学教授）

コーディネーター：井上正望・チアッペ・マティアス

（早稲田大学スーパーグローバル大学創成支援事業国際日本学拠点客員次席研究員）

主催：スーパーグローバル大学創成支援事業早稲田大学国際日本学拠点

共催：早稲田大学高等研究所／角田柳作国際日本学研究所／早稲田大学総合人文科学研究センター

後援：読売新聞社／柳井正イニシアティブ グローバル・ジャパン・ヒューマニティーズ・プロジェクト／
早稲田大学国際文学館

協力：文化資源社

境界の溶解と再編をめぐる学際的研究

2021 年度公開研究会シリーズ「戦後優生政策の国際比較」第 1 回

「リベラルな優生学」にむけて——家族政策をめぐる戦間期イギリス優生学協会の思想と実践」

日時：2021 年 10 月 15 日（金）

報告：寺尾範野（早稲田大学社会科学総合学術院准教授）

コメンテーター：豊田真穂

ファシリテーター：岡部耕典

2021 年度公開研究会シリーズ「戦後優生政策の国際比較」第 2 回

「戦後ドイツにおける「遺伝病子孫予防法」と人類遺伝学——アメリカとの関係に着目して」

日時：2021 年 12 月 10 日（金）

報告：紀愛子（早稲田大学非常勤講師）

コメンテーター：豊田真穂

ファシリテーター：岡部耕典

創作と翻訳の超領域的研究

◆共催

「オンラインワークショップ「世界の中の和歌」—多言語翻訳を通して見る日本文化の受容と変容—」

日時：2021年9月3日（金）

場所：Zoom 開催

主催：日本古典文学多言語翻訳研究会／早稲田大学高等研究所／

スーパーグローバル大学創成支援事業 早稲田大学国際日本学拠点

「詩の翻訳、詩になる翻訳 Translating Poetry, Translation as Poetry」

日時：2021年10月15日（金）

場所：Zoom 開催

主催：スーパーグローバル大学創成支援事業 早稲田大学国際日本学拠点

「Online Rakugo Performance, Workshop, and Lecture: Rakugo: Serious Performing Art, Amusing Research Specialty」

日時：2022年1月11日（火）

場所：Zoom 開催

講師：Dr. M.W. Shores

「Online Lecture: The Comic Storytelling of Western Japan—that ‘other’ rakugo」

日時：2022年1月20日（木）

場所：Zoom 開催

講師：Dr. M.W. Shores

主催：スーパーグローバル大学創成支援事業 早稲田大学国際日本学拠点

拡大するムスリム社会との共生

アイラ・ラピダス『イスラームの都市社会』合評会

日時：2021年9月12日（日）

場所：Zoom 開催

日本の各地の大学で前近代アラブ史を専攻している大学院生・学部生に声をかけ、中世アラブ・イスラーム史の古典的名著である、アイラ・ラピダス著『イスラームの都市社会：中世の社会ネットワーク』（岩波書店、2021年）の合評会を実施した。

研究報告会「「イブン・ハルドゥーン現象」批判からインテレクチュアル・ヒストリーへ：イブン・ハルドゥーン研究の可能性」

日時：2022年3月7日（月）

場所：Zoom 開催

報告者：荒井悠太

心と身体の関係と可塑性に関する学際的研究

前年度までに続き、部門内で2回の研究会をZoomにより開催した。

第1回研究会

日時：2021年5月26日（水）

場所：Zoom 開催

森由利亜氏が「気の観念と道家思想の関係をめぐる一視点一気からの万物生成と『莊子』の思想」と題して、

主に道教に基づく「気」の捉え方を考察。

第2回研究会

日時：2021年7月28日（水）

場所：Zoom 開催

丸山貴彦氏が「武道にみる心と体のつながり―「天真体道」創始者青木宏之の思想から」という演題で、武道の実践に基づく心身理解に関する話題を提供。

日本ソマティック心理学協会第8回記念大会 2021

日時：2021年10月9日（土）～10日（日）

場所：早稲田大学戸山キャンパス

大会長：宮田裕光

共催：日本ソマティック心理学協会／早稲田大学総合人文科学研究センター「心と身体の関係と可塑性に関する学際的研究」部門

大会では、越川房子氏が「マインドフルネス―注意と身体」、山部氏が「身心相関の観点からみた禅定の実践―アーラヤ識説をてがかりに」の演題で、共通講演を行った。また小村・宮田・村松が、「哲学、心理学、医療―横断する心と身体の研究」と題して、心身の学際的研究を紹介する分科会を開催した。丸山氏は、「武道における「動」の瞑想」と題したワークショップを開催した。なお、同会の内容は、本号に掲載する部門特集5を参照。